

# 有名じゃないけど ひみつがいっぱい！花室川

「子ども郷土研究」は、小・中学生が調査・研究を通して郷土の歴史や文化について関心を持ち、我が郷土「つちうら」を見つめ、理解を深めることを目的に実施しています。今回は139点の応募作品から、関梢子さん（下高津小学校4年）の作品『有名じゃないけどひみつがいっぱい！花室川』が最優秀賞に選ばれました。その作品（一部省略）を紹介します。



下高津小学校4年  
関 梢子さん

## 1 研究の動機

私は、花室川のことは、そんなにきょうみはなかったけど、カブスカウトでボート乗りのときに、水がきれいで、冷たかったので、きょうみを持ちました。桜川よりも、広くないし、深くなかったので、遊べそうで、花室川が好きになりました。

## 2 研究の方法

- ・河口から源流まで行きました。
- ・本で調べました。
- （土浦歴史地図、図説土浦市史、土浦町内ものがたり、民話百話土浦ものがたり、国土地理院の航空写真、昔の地図）
- 資料館やインターネットでしらべました。
- パソコンで地図を加工しました。

## 3 研究の結果

花室川ってどんな所？



最初に探検した所を、3つに分けて全体を紹介します。（地図1を見てください）

- 1 下流の特ちょう
  - ◎河口から常磐高速のあたりまで
  - ◎川幅が広い
  - ◎ボート遊びができる深さ
  - ◎田んぼが広い
  - ◎谷津が深い
  - ◎遺跡が多い
- 2 中流の特ちょう
  - ◎常磐高速から2つに分かれる所まで
  - ◎田んぼは広い
  - ◎谷津は浅い
  - ◎丘が低くなった
  - ◎川幅が狭くなった
- 3 上流の特ちょう
  - ◎2つに分かれたところから源流まで
  - ◎妻木のところで川は2つに分かれます。また、玉取でも2つに分かれます。

ますが、片方はただの水路のようでした。

◎水が汚い

◎水路がコンクリートになった

◎田んぼが狭くなった

◎源流のあたりは丘がなくなつた

◎小さい水門やせきがたくさんあつた

◎こわいぐらい川が深くなつた（全長約15km！）

◇どこにも田んぼがありません。

上流は田んぼのために花室川がある感じです。せきは水をためるためにたくさんあるのだと思いました。他にもいろいろなことが分かったので紹介します。

◇とつぜん消えた源流

花室川は最後に2つに分かれ、つくば市玉取の高田整形の道のとこでとつぜんなくなりました。道の反対側には何もありませんでした。「あれ！？」と思いました。

妻木の源流もとつぜん消えて、反対側には家が建っていました。でも橋があつたので、あとから川をつめたのかなと思いました。

◇なぜ上流では丘がなくなつたの？

それは、下流の丘と、上流の川の高さが同じになつてしまつたからです。

●丘が消えたヒミツ

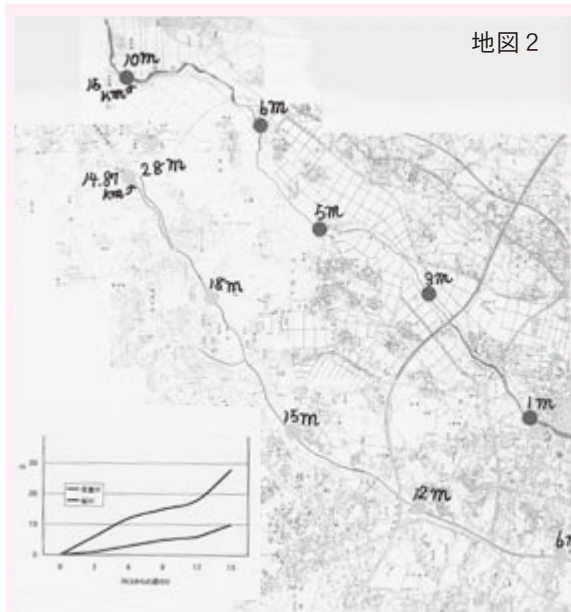
グーグルアースで源流の高度を計ってみました。すると、28メートルありました。河口のそばの土浦三高

の丘の高度は26メートルありました。源流まで行く間に、いつの間にか三高の丘と同じぐらいの高さまで登ってしまったのです。丘の上まで登ったので丘はなくなったのです。それなら、桜川はどうかと思ひ、計ってみました(地図2)。グラフにまとめました。河口から3キロごとに高度を測りました。このグラフを見て、花室川は桜川よりも18メートルも高い所から流れていることがわかりました。桜川よりずっと急でびっくりしました。

### ●面白い地形の歴史

20万年前、関東地方はほとんど海でした。でも、2万年前には、ほとんど陸になってしまいました。そして、6千

地図2



年前の縄文時代のころ、また水がふえてきました。花室川の周りでは、そのころの遺跡がたくさん発見されています。石器時代や縄文時代の遺跡に点を打ちました。そうしたら、たくさんあって、私が住んでいる桜ヶ丘にも遺跡が6つ発見されていました。びっくりしました。

上高津貝塚からたくさん貝が取れたので、そこまで海がきていたのかもしれないと思ひ、貝塚のてっぺんよりちょっと低い等高線20メートルの所に色をぬりました。すると、私が通っている下高津小学校は、海に

浮かんでいる島のようになっていました。市役所も島のようになっていました。桜ヶ丘は、ほとんど海でした。私の家の所まで水がきていました。

烏山遺跡や他の遺跡も沈んでしまつたところが多かったのだ、おかしいなと思ひました。桜ヶ丘の周りは陸地が狭いので、森もできないし、それでは家を建てられないし、遺跡の中には、島になつてしまつた所もあったので、「本当にこんな所に人が住んでいたのかな」と思つて、等高線15メートルの

所にも、ぬってみました。

でも、遺跡はまだ沈んでいるところがあるので、今度は、等高線10メートルの所にも、ぬってみました。川の周りの田んぼは水につかっているけど、遺跡や、桜ヶ丘も、陸地の所が多くなりました。海の高さにあわせて人が住んだのかも知れません。

### ●谷津に行ってみよう

花室川の周りには、谷津がたくさんありました(地図3)。等高線15メートルの所をぬってみました、だいたい今の谷津です。谷津は、丘と丘にはさまれた谷のような所です。そこ

谷津



地図3

に田んぼがあるときは、谷津田といひます。たくさんあったので、行ってみました。紹介します。

### ◇烏山の谷津

烏山の東にある谷津は有名です。花室川から一番奥まで約1.7キロメートルありました。長くて、崖も高かったです。びっくりしました。

江戸時代の絵地図によると一番奥には、原田池がありました。その池は、前に研究した鏡ヶ池と同じように、水が干れることがなかったそうです。でも今はありません。

この池から流れ出ていた思ひ川は、今も田んぼの端の方に流れています。この川のきれいな水のおかげで、田んぼは豊かでした。江戸時代にはお酒も作っていたそうです。でも今は、国道125号線が上に通っていて、深い谷は砂で埋められていました。それに、砂の山や、中古車屋もできていました。私は、これを見て、無さな感じになりました。せめて、きれいに土を整えて、そこに木を植えたりしたらいいです。川の周りにもコンクリートで固めてありました。

### ◇大岩田の谷津

その後、大岩田の谷津に行ってみました。そこは、あまり高い谷ではなく、なめらかでした。父の話では、昔は木がいっぱい生えていたけど、今は切つてしまひ少なくなつてしまひました。その木は、うちのストーブに使われました。ここでわき水を発見しました。谷津にはわき水が多いようです。



## ◇常磐線も谷津

谷津は永国のように、住宅街になつてしまったところもありました。常磐線は谷津を使つていました。プリマハムの所の谷津は、探検した中で一番大きかったです。花室川から終点の右粉2区まで、2キロメートルありました。常磐線はその谷津を、花室川から荒川沖の駅の方にまっすぐ登っていました。花室川から、反対を見たら永国東町まで谷津を通っていました。谷津を通ると森がないし、でこぼこがないので通しやすかったのかもしれない。

## ●わき水発見

◇大角豆の谷津田の一番奥にあつたわき水

谷津の周りには、古い家がたくさんありました。一番上まで登つていたら、ガマンホが生えている場所を見つけた。沼のようになっているかんじです。草ぼうぼうで水はみえませんが、ここにわき水があると思いました。

## ◇栄泉寺のわき水

栄泉寺のところの崖に行つてみました。ガマンホがたくさん生えているところに水が少し流れていました。このところ雨がふらないで、日照りが続いていて、水は少なかったです。

## ◇九重のわき水

九重でもわき水を発見しました。

田んぼの端に水路がありました。水がきれいに見えました。さわつてみるとすごく冷たかったです。

きれいで冷たかったので、よく見てみると、崖の下から流れ出していました。これは、わき水だということがわかりました。水の中には、動きが速いメダカや、ザリガニもいました。それから、その隣の草ぼうぼうの空き地をよくみてみると湿原でした。草の間に水がたまつていてその水は水路に流れだしていました。トンボも産卵にきていました。よほどみんなここが好きなんだと思いました。夏に行った霧多布の湿原を思い出しました。

## ◇大岩田のわき水

谷津コーナーで紹介した大岩田のわき水は、大きい農家の塀の下からわきていました。その水を流すためのパイプが、道路に設置されていました。すごいなと思いました。

## ●昔の花室川

土浦の昔話には、花室川の話が1つあります。それは、「成田不動になつた烏山の薬王寺不動」という話です。花室川は昔は強い雨がふると田んぼを沈めてしまふあばれ川だったそうです。毎年、毎年、堤防がくずされてしまふので、それを知つたお坊さんが人柱になつたお話です。そんなにすごい川だったのかと、昔の地図(明治35年)を見てみると、す

今の写真



明治35年の地図



資料1 昔と今の花室川の河口

ごくくねくねしていました。今はまっすぐだし、静かに流れているので、びっくりしました。

昭和50年頃に、筑波研究学園都市ができるときに、川幅を広げて、まっすぐにしたそうです。昔とくらべるとよくわかります(資料1)。それで、探検に行つてみたら、3つおどろいた事がありました。

## ◇昔の水門発見

おどろいた事の1つは水門を発見した事です。

柿の木橋の近くの小道から入ったところに、川があつたので行つてみると、こわれた水門を見つけた。これが昔の花室川かと思いました。川は今の地図にも、小さく書かれて

資料2



大川橋



親和橋



柿の木橋



大池橋



柏橋



大角豆の橋

いました。くねくねした所の一部が残っていたのかもしれない。今と比べたら、細かったです。これでは、洪水になりそうです。

## ◇橋が同じ

もう1つは、橋の形が同じ事です(資料2)。柿の木橋、親和橋、大川橋、大角豆の橋(さびて名前が落ちていて分からない)、柏橋、大池橋の6つです。ほかの橋は、ガードレールのような欄干で、みんな似てい

ました。だから同じ時期に作られたのかと思いました。

#### ◇水源は池だった

昔の地図を見ると花室川の水源は池でした。池から先は川が書いてありませんでした。

今、そこはどうなっているのかな  
と思い、今の地図と比べて、行ってきました。

すると、川が2つに分かれている所でした。今は原っぱと製材所があり、池があった事は全然わかりませんでした。でも、そこには「大池橋」という橋がありました。たぶん、その池は大池という名前だったという事だと思いました。

だから、そこから先の川は最近掘った新しい川なのだと思います。

それでは、大池は、いつ埋められたのでしょうか。

まず、昭和7年の地図を見てみました。その地図にはまだ大池がありました。次に昭和23年の航空写真を見てみました。すると、池はもうありませんでした。その16年の間になくなったと言うことです。これは今度調べてみたいです。でもいつかは分からないけど、橋の名前で、昔の地形が残っているのだなと思いました。

#### ●花室川にナウマンゾウの骨が

花室川の周りには昔の遺跡がたくさん発見されていましたが、つくば市にもありましたし、もっと古い時代

のものも出てきました。

散歩をしている人が、途中の川底でナウマンゾウの骨を見つけたそうです。場所は、つくば市の上広岡の近くだそうです。

それを知った私は、旧桜村民俗資料館に行ってみました。そうしたら、下あごの骨がありました。約3万年前のものだそうです。これを見て、すごいと思いました。この頃は、全部陸になる前です。今とは、全然違う地形、気候だったのです。

#### 4 感想

花室川には、どこの橋でも魚や、カメや、白鳥などが見られたので、花室川には、自然がいっぱいあると思いました。

でも、堤防や川の中にゴミがたくさんあったのが目立ちました。バイクや、自転車、花火のゴミが、あちこちにそのまま捨ててありました。私は、自然があるのに「ひどいな」と思いました。

それから、この研究を思ったことは、地形はどんどん変わってしまふ、ということですね。これからもどんどん変わってしまふのでしょうか？ なんだか悲しいです。

また、カブスカウトのボート乗りの時に、副長が「あそこにゾウの骨があるよ」と言っていたのを思い出しました。そのとき私はその意味が分からなかったのですが、研究をして理解しました。楽しい研究でした。

| 賞    | 研究テーマ                          | 氏 名       | 学 年       |
|------|--------------------------------|-----------|-----------|
| 最優秀賞 | 有名じゃないけどひみつがいっぱい！花室川           | 関 梢 子     | 下高津小 4 年  |
| 優秀賞  | 手野町の歴史                         | 橋 内 優 太   | 上大津西小 3 年 |
| 〃    | 昭和初期から終戦の土浦                    | 萩 原 健 太   | 神 立 小 6 年 |
| 〃    | 土浦市の神社の鳥居と狛犬の研究                | 中 川 知 弥   | 右 舂 小 5 年 |
| 〃    | 岡谷館製糸所荒川沖工場<br>ー「糸姫」と呼ばれた女性たちー | 坂 口 由 夏   | 右 舂 小 6 年 |
| 〃    | 土浦と水害                          | 市 村 拓 也   | 土浦第四中 3 年 |
|      |                                | 市 高 田 航 太 | 〃 3 年     |
|      |                                | 細 谷 峻 介   | 〃 3 年     |
|      |                                | 高 橋 雄 二   | 〃 3 年     |
|      |                                | 竹 内 彬 子   | 〃 3 年     |
|      |                                | 馬 場 眞 行   | 〃 3 年     |
|      |                                | 古 谷 眞 一   | 〃 3 年     |
| 優良賞  | 土浦市民が土浦市をどう思っているのか             | 馬 場 眞 一   | 〃 1 年     |
|      |                                | 他 1 名     | 〃 1 年     |
|      |                                | 田 中 万 里 奈 | 下高津小 6 年  |
| 〃    | ほくたちが住んでいる町のれんこんについて           | 榎 本 豊 也   | 上大津西小 4 年 |
| 〃    | 照井の井戸と水戸街道                     | 萩 原 雄 太   | 神 立 小 4 年 |
| 〃    | 日枝神社とやぶさめ祭り<br>～大ざるをたい治しようげん～  | 飯 島 眞 尋   | 山ノ荘小 3 年  |
| 〃    | 清潔な土浦市にしよう                     | 田 中 歩 美   | 土浦第二中 1 年 |
| 〃    | 土浦市北部の歴史                       | 久 家 美 里   | 都 和 中 1 年 |
| 努力賞  | 霞ヶ浦総合公園を調べて                    | 小松崎 大 智   | 都 和 小 5 年 |
| 〃    | 土浦・日枝神社の流鏝馬について                | 細 矢 百 花   | 中 村 小 6 年 |
| 〃    | じょう文時代の土うら人                    | 沼 尻 奈 々   | 右 舂 小 2 年 |
| 〃    | とりでのあとはその昔                     | 岡 本 麻 希   | 斗利出小 6 年  |
| 〃    | お年寄りも住みよい街へ                    | 岡 本 橋 瞳   | 〃 6 年     |
| 〃    | 美しい土浦をつくらう                     | 酒 井 愛 里   | 土浦第二中 1 年 |
| 〃    | 土浦市の醤油と酒                       | 中 澤 朋 美   | 土浦第二中 1 年 |
| 〃    | 土浦市の醤油と酒                       | 吉 村 美 貴   | 都 和 中 1 年 |
| 学校賞  | 上大津西小学校                        |           |           |

※最優秀賞、優秀賞の作品は、「第34回子ども郷土研究集録」に掲載しています。